**IVRペーシェントケア研究会経過**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第 16 回 | 第 17 回 | 第 18 回 |
| 日 　時 | 2022 年 10 月 1 日（土）15：30～ | 2023 年 10 月 7 日（土）14：00～16：00 | 2024年11 月16日（土）14：00～16：00 |
| 会 　場 | WEB開催 | 那須赤十字病院 放射線科ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ (ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催) | 那須赤十字病院 放射線科ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ (ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催) |
| 参加人数 | 56名 | 49名 | 約70名 |
| 演　 題 | Ⅰ：ころなかでのケアと新人Ｎrs教育 座長 獨協医大　生井郁子先生『コロナ禍で新たに必要になった事、必要ではなかった事』那須赤十字病院 国広真智子先生『IVR部門に新たに配属となった看護師への』済生会宇都宮病院　松本香先生足利赤十字病院　　川島忍先生 栃木県立がんセンター　高貝恵美子先生Ⅱ：新人技師教育とIVR被ばく管理 座長 那須赤十字病院 山下明先生『IVR部門に新たに配属となった放射線科技師への教育 』 足利赤十字病院 新井宏幸先生『被ばく管理（3グレイルールに抵触するケー スの対応について』  済生会宇都宮病院 高木千秋先生 那須赤十字病院 増渕裕祐先生 栃木がんセンター 片岡美香先生Ⅲ：新人に対するIVR基本手技の紹介 　　　座長 TMCしもつが 藤栄寿雄先生『HCC-TACE』　 　　　栃木がんセンター山本孝信先生『CVP（留置とメンテナンス』 　　　聖マリアンナ医大　和田慎司先生『経皮的ドレナージ』 　　　那須赤十字病院　　水沼仁孝先生Ⅳ：トピック 　　　座長 足利赤十字病院　潮田隆一先生『分子標的薬投与後のHCC-TACEの治療の実際』 　　　獨協医大　　石原克俊先生 | 1.『Urografinおよびｲﾝﾀｰﾍﾞﾝｼｮﾝｴｷｽﾊﾟｰﾄﾅｰｽ:INEに関するアンケート調査報告』那須赤十字病院IVR・内視鏡部門担当師長国広真智子2.『整形外科用Cアームイメージングシステムの線量管理について』那須赤十字病院放射線科IVR担当技師増渕 裕介3.『外傷に対するTAE症例件数の変化について』平塚市民病院放射線診断科屋代 英樹4.『償還価格逆ザヤに関して－各種ドレナージデバイスの紹介と併せて－』那須赤十字病院放射線診断科水沼 仁孝5.『自治医科大学IVR部門の紹介』自治医科大学放射線診断科濱本 耕平 | 座長：本多正徳 (芳賀赤十字)1. INEの人事に関するアンケート報告

水沼仁孝（那須赤十字） 座長：川倉健治 (南東北)1. 那須赤十字病院DSAのX線透視時の濃度分解能の機種別比較

菅俣祐太（那須赤十字）1. 肝臓以外のRFA施行時の疼痛対策について

加藤弘毅（済生会宇都宮）座長：藤栄寿雄 (とちぎメディカルしもつが)1. IVR部門看護師の業務引継ぎについて

-栃木県立がんセンター 相良 律子 -足利赤十字病院 島田 恭代 -済生会宇都宮病院 松本 香 座長：濱本耕平(自治医大)1. IVR室、XTV室で行われる手技、処置の重大合併症について

1)Chest tubu挿入　 藤田晃史（芳賀赤十字）-トラブル症例紹介　水沼仁孝（那須赤十字）2)CV挿入　　　　　 御須　学(足利赤十字)3)膵胆道系内視鏡インターベンション(ア)下行脚～水平脚出血　黒岩大地(福島県立医大)(イ)医原性出血　 山本孝信(栃木県立がんセ) |

**IVRペーシェントケア研究会経過**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第 13 回 | 第 14 回 | 第 15 回 |
| 日 　時 | 2018 年 10 月 20 日（土）15：00～ | 2019 年 10 月 5 日（土）15：00～ | 2021 年 10 月 2 日（土） |
| 会 　場 | チサンホテル宇都宮 富士の間 | ホテルニューイタヤ 蓬莱の間 | WEB開催 |
| 参加人数 | 59名 | 78名 | 70名 |
| 演　 題 | Ⅰ：座長 足利赤十字病院 新井 宏幸 先生 『線量低減の具体的方法とは』 那須赤十字病院 増渕 裕介 先生 『被ばく防護法を身に付ける』 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 高橋 良 先生 『IVRナースが患者さんに近づくタイミングと そのポジショニング』 栃木県立がんセンター 大和田 一美 先生 Ⅱ：座長 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 大和田一美 先生 『CVポート管理』 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 見目 京子 先生 『IVRをスムーズに進める為の知恵』 済生会宇都宮病院 大築 慎一 先生 Ⅲ：座長 総合南東北病院 今井 茂樹 先生 『稀なIVR症例供覧 ―BRTO、副腎静脈サンプリング、気管支動脈塞栓―』 獨協日光医療ｾﾝﾀｰ 比企 太郎 先生 『稀なIVR症例供覧 －脳血管IVR、脊髄動脈IVR』 足利赤十字病院 潮田 隆一 先生 Ⅳ：座長 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 山本 孝信 先生 『稀なIVR症例供覧 －経皮的ドレナージ、IVCフィルター、PTO―』 那須赤十字病院 山下 明 先生『HCC・TACEナビゲーション』 那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 | Ⅰ：座長 足利赤十字病院 潮田 隆一 先生 『水晶体被ばく線量改訂に備えて』 総合南東北病院 今井 茂樹 先生 『テーブル周囲の被ばく防護について』 竹田綜合病院 松永 賢一 先生 『消化器内科医の被ばく低減を考える(X-TV)』 済生会宇都宮病院 猪瀬 翔一郎 先生『2020年被ばく管理問題について』 済生会宇都宮病院 本多 正徳 先生 Ⅱ：座長 とちぎﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰしもつが 藤栄 寿雄 先生 『栃木県における救急IVR体制を考える』 獨協医科大学日光医療ｾﾝﾀｰ 比企 太郎 先生 Ⅲ：座長 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 山本 孝信 先生 『IVR患者術前訪問と疼痛対策』 済生会宇都宮病院 佐藤 知子 先生 『IVRナース・病棟ナースとの情報共有とIVR看護記録』 足利赤十字病院 川島 忍 先生 『IVR患者不安軽減方法と患者理解度確認方法』 総合南東北病院 長須 律子 先生 『IVRカンファレンスとクリテイカルパス』 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 大和田 一美 先生 『IVRナース教育』 那須赤十字病院 吉成 美津子 先生 | 《開会の辞》那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 1 『ニッチな IVR症例 提示』 座長 :芳賀赤十字病院 本多 正徳 先生 『リンパ管の IVR』 済生会宇都宮病院 加藤 弘毅 先生 『エンドリーク症例』 足利赤十字病院 御須 学 先生 『外頸動脈の動注と塞栓術』 総合南東北病院 中里 龍彦 先生 『IVCフィルター』 那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 2 『CVポート管理』 　　 座長 :TMしもつが　藤栄 寿雄 先生 『化学療法終了後の管理について』 栃木県立がんセンター山本 孝信 先生 3 『DSAテーブル周りのプロテクタ標準を求めて施設別測定結果報告』 座長 :太田西ノ内病院 大原 亮平 先生 『Phillips』 総合南東北病院 内藤 信介 先生 『Siemens & Canon』 済生会宇都宮病院 大築 慎一 先生 那須赤十字病院 増渕 裕介 先生 4 『IVR患者のPCR検査状況ｱﾝｹｰﾄ結果報告』 座長 :獨協医科大学 日光医療ｾﾝﾀｰ 比企 太郎 先生 那須赤十字病院　豊田 豊子 先生 5 『病棟目線での IVRペーシェントケア』 座長 :自治医科大学附属病院 石内 史江 先生 栃木県立がんセンター大和田一美 先生 《閉会の辞》 那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 |

**IVRペーシェントケア研究会経過**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第 10 回 | 第 11 回 | 第 12 回 |
| 日 　時 | 2015 年 11 月 21 日（土）13：00～ | 2016 年 10 月 1 日（土）15：00～17：00 | 2017 年 9 月 30 日（土）15：00～17：00 |
| 会 　場 | チサンホテル宇都宮　富士の間 | ホテルニューイタヤ　蓬莱の間(東) | ホテルニューイタヤ　本館3階　天平の間 |
| 参加人数 | 67名 | 60名 | 52名 |
| 演　 題 | Ⅰ座長 東京医科歯科大学 片田 芳明 先生 『那須IVRとIVRペーシェント研究会の 　　　　 歴史を振り返る』 とちぎﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ しもつが藤栄 寿雄 先生 Ⅱ座長 獨協医科大学 楫 靖 先生 『IVRにおけるタイムアウト －当センターの現状について－』 栃木県立がんセンター 外来Ⅱ看護師大和田 一美 先生 Ⅲ座長 宇都宮済生会病院 本多 正徳 先生 『症例検討』 済生会宇都宮病院 八神 俊明 先生栃木がんセンター 山本 孝信 先生足利赤十字病院 潮田 隆一 先生獨協医科大学日光医療ｾﾝﾀｰ 比企 太郎 先生Ⅳ 座長 福田記念病院 兵頭 春夫 先生 『非血管系IVRと救急を中心に ～保険の話題に触れながら～』 那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 | Ⅰ座長 とちぎﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰしもつが 藤栄 寿雄 先生 『タイムアウトとその現状 ～事例症例紹介～』 ① 脳動脈瘤： 足利赤十字病院 潮田 隆一 先生 ② HCCのTACE： 那須赤十字病院 三浦 剛史 先生 ③ 下肢PTA： 済生会宇都宮病院 八神 俊明 先生 Ⅱ 座長 栃木県立がんｾﾝﾀｰ山本 孝信 先生 『ハイブリッドオペ室の現状 ～TAVIを例にして～』 獨協医科大学病院 心臓・血管内科那須野 尚久 先生 Ⅲ 座長 総合南東北病院 今井 茂樹 先生 『NBCAの使用法は適切か？：最近の発表から 考える』 獨協日光医療センター 比企 太郎 先生 Ⅳ座長 済生会宇都宮病院 本多 正徳 先生 『IVRナースの教育とキャリア形成 について（アンケート実施）』 那須赤十字病院 福西 由貴子 先生 | Ⅰ 座長 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 山本 孝信 先生 『IVR患者のアメニティー』 獨協医科大学日光医療ｾﾝﾀｰ 比企 太郎 先生 『クリニカルラダーを活用したIVR看護教育』 栃木県立がんｾﾝﾀｰ 大和田 一美 先生 Ⅱ 座長 東京女子医科大学東医療ｾﾝﾀｰ 片田 芳明 先生 『被ばくが多かった症例と低減の術～診断レベルを交えて～』 那須赤十字病院 増渕 裕介 先生『透視（X-TV、DSA、ポータブル）の被ばく』 足利赤十字病院 新井 宏幸 先生 Ⅲ 座長 とちぎﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰしもつが 藤栄 寿雄 先生 『IVR患者の鎮静と疼痛対策』 済生会宇都宮病院 本多 正徳 先生 『IVRの基本手技：基本手技を知らずにおこるトラブル防止の為に』 足利赤十字病院 潮田 隆一 先生 『使用器具の医療保険カバー率』 那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 |

**IVRペーシェントケア研究会経過**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 9 回 |
| 日 　時 | 2012 年 10 月 20 日（土）14：00～ | 2013 年 10 月 5 日（土）14：30～16：05 | 2014 年 10 月 4 日（土）15：00～17：00 |
| 会 　場 | 那須赤十字病院 2Ｆ マイタウンホール | 寿泉堂綜合病院 5F 大会議室 | 済生会宇都宮病院 2 階 グリーンホール |
| 参加人数 | 55名 | 36名 | 60名 |
| 演　 題 | ＊那須赤十字病院 施設見学 Ⅰ座長：獨協日光医療センター 比企 太郎先生『 IVRの基本的手技から最新手技の紹介 』  足利赤十字病院 潮田 隆一 先生Ⅱ座長：下都賀総合病院 藤栄 寿雄 先生『 看護師からみた被曝教育について 』  自治医科大学病院 中田 学 先生Ⅲ 座長 総合南東北病院 今井 茂樹 先生 座長 済生会宇都宮病院 本多 正徳 先生 ～電子カルテ時代における看護記録と物品請求の入力について～ 1.『リアルタイムでの看護記録を求める為に』  足利赤十字病院 柏瀬 美香 先生 済生会宇都宮病院 床井 純子 先生2.『ステントグラフト内挿術における  バイタルサインのリアルタイム転送』 済生会宇都宮病院　佐久間 貴志 先生3.『物品請求の電子化について』  済生会宇都宮病院　床井 純子 先生 那須赤十字病院　田谷 恵美子 先生 | Ⅰ 座長：総合南東北病院 三瓶 孝 先生 『 IVR専門診療放射線技師への険しい道のり』 那須赤十字病院 増渕 裕介 先生Ⅱ テーマ ： 被曝管理について 1. 座長：星総合病院 白石 嘉博 先生

『最近の代表的なIVR手技の 被曝線量とその管理』 那須赤十字病院 山下 明 先生1. 座長：済生会宇都宮病院 小林 桂 先生

『メーカー別IVR被曝線量低減の工夫について』 ＊シーメンス担当： 済生会宇都宮病院 佐久間 貴志 先生＊東芝担当： 獨協医科大学日光医療ｾﾝﾀｰ 金田 幹雄 先生＊GE・フィリップス担当： 総合南東北病院 三瓶 孝 先生1. 座長：太田西ノ内病院 小林 弘子 先生

『被曝に関しての知識アンケート』那須赤十字病院 水沼 仁孝 先生 Ⅲ テーマ ： CVポートについて 座長：総合南東北病院 今井 茂樹 先生『CVポートの管理方法とその教育方法』講師 那須赤十字病院 和田 慎司 先生 | Ⅰ座長 兼 コメンテーター： 足利赤十字病院 新井 宏幸 先生 『IVR における 4K , 56inch Display の効果　 ～解像度、視認性からみる有用性～』那須赤十字病院 増渕 裕介 先生 Ⅱ 座長：那須赤十字病院 野原 往子 先生 『看護師による静脈注射の 院内認定制度についての現状と今後』 足利赤十字病院 外来・検査治療部門放射線科 斎藤 広美 先生 『当院での静脈注射への取り組み』 済生会宇都宮病院 放射線外来 看護師 床井 純子 先生 Ⅲ 座長：足利赤十字病院 潮田 隆一 先生 『本邦における CV センターの現状と 当院における運用』 総合南東北病院 放射線科 青島 雅人 先生『当センターにおける CV カテーテル挿入・ CV リザーバー留置について』 栃木がんセンター 放射線診断部・IVR 科 山本 孝信 先生 |

**IVRペーシェントケア研究会経過**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 |
| 日 　時 | 2009 年 10 月 3 日（土）15:00～17:00 | 2010 年 10 月 16 日（土）15:00～17:00 | 2011 年 10 月 1 日（土）15：00～17：00 |
| 会 　場 | ラフレさいたま 4 階 欅の間 | 済生会宇都宮病院 グリーンホール | ホテルニューイタヤ |
| 参加人数 | 名 | 名 | 名 |
| 演　 題 | 講演 座長 大田原赤十字病院 水沼 仁孝 先生1. 『救急IVRの診療体制について』 自治医科大学附属病院中田 学 先生2.『DSA等の動画像の取り扱い （電子カルテ導入に向けて）』 済生会宇都宮病院小林 桂 先生 3.『透視画像の画像記録 （リスクマネージメント）』 大田原赤十字病院 山下 明 先生 4.『クリニカルパスの電子運用 －富士通（EGMAIN EX）』  獨協医科大学日光医療センター比企 太郎 先生 | 1. 看護師

座長 下都賀総合病院 藤栄 寿雄 先生～IVR認定看護師 資格取得の条件～ 『試験分析』 獨協医科大学 日光医療センター比企 太郎 先生 『認定ＩＶＲ看護師講習会テキスト 内容の評価』下都賀総合病院藤栄 寿雄 先生 『資格取得後の待遇アンケート』 大田原赤十字病院 森 貴美子 先生1. 診療放射線技師

座長 自治医科大学附属病院 中田 学 先生『HCC-TAEの場合にどれくらいの生涯累積線量、被爆量になるのか』 大田原赤十字病院 山下 明 先生3 .医師 座長 足利赤十字病院 潮田 隆一 先生『Artis zeego導入によって何が変わったか？』済生会宇都宮病院大築 慎一 先生 | テーマ： IVRペーシェントケアに必要な被曝防護の知識 1. IVR －南東北病院 2. 整形外科領域 ミエロなどＸ線ＴＶで実施する穿刺 －自治医科大学付属病院 1. 整形外科領域 手術室

－獨協医科大学病院 1. RI / RET

－済生会宇都宮病院 1. 内視鏡 IVR

－獨協医科大学日光医療センター 1. ナースの IVR 教育に望む事

IVR ナースの初期教育項目－足利赤十字病院 1. 病棟ナースの IVR 教育に望む事

－下都賀総合病院 1. IVR に関する類似語、類義語、類別化

－大田原赤十字病院 |

**IVRペーシェントケア研究会経過**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 |
| 日 　時 | 2006 年 9 月 30 日(土) | 2007 年 9 月 29 日(土) | 2008 年 9 月 20 日(土) |
| 会 　場 | ホテルニューイタヤ | 市民交流プラザビックアイ 7F 大会議室 | ホテルニューイタヤ 3F 天平の間 |
| 参加人数 | 名 | 名 | 名 |
| 演　 題 | 1. モニタリング・バイタルサイン

済生会宇都宮病院本多 正徳 先生 1. コミュニケーション

大田原赤十字病院水沼 仁孝 先生 1. ブリーフィング・ミーティング

足利赤十字病院潮田 隆一 先生 1. プレラウンド・インフォームドコンセント 防衛医科大学校病院

加地 辰美 先生 | 1. IVRの医療記録 ＊アンケート結果報告 獨協医科大学日光医療センター比企 太郎 先生 ＊事例報告 大田原赤十字病院 看護師渡邊 冨美子 先生 総合南東北病院 看護師 佐藤 敦子 先生 自治医科大学附属病院 看護師 福田 仁美 先生 2. IVR の医療被爆・安全管理・ 診療放射線技師の役割 ＊アンケート結果報告 下都賀総合病院 藤栄 寿雄 先生 ＊事例報告 済生会宇都宮病院 診療放射線技師小林 桂 先生 総合南東北病院 診療放射線技師 栗林 哲也 先生 3. 教訓症例提示 ＊症例Ⅰ：足利赤十字病院 潮田 隆一 先生＊症例Ⅱ：下都賀総合病院 藤栄 寿雄 先生 | 1. 技師関係

『 夜間休日のIVRを念頭に置いた 新人教育について』 済生会宇都宮病院 診療放射線技師小林 桂 先生 『 IVRのオンコール体制アンケート ～循環器を含めて～ 』 大田原赤十字病院 診療放射線技師山下 明 先生 『 IVR被爆線量の管理について事例報告 』 　大田原赤十字病院 診療放射線技師 山下 明 先生 　　　自治医科大学附属病院 診療放射線技師 小林 和宗 先生 1. 看護師関係

『 IVRナース24時間体制をしくには ：事例報告 』 済生会宇都宮病院 看護師鈴木 初枝 先生 1. 教育講演

『 IVRナースの担う領域とは 』 奈良県立奈良病院 放射線科吉岡 哲也 先生 |